



住北通信

第2号 発行日 H31.4.22
発行者 校長 松下 佳司
大東市立住道北小学校
TEL 872-7788 FAX 872-7789

「夢をもつ住北っ子」の育成をめざして

本校がもつよき伝統や教育的風土のなかで、「TEAM SUMIKITA」を合言葉に、全職員の総力を結集し、積極的協力体制のもと地域や学校の実態に即した実践を図りたいと考えております。

学校教育目標「心豊かに生きぬく たくましい子」のもと、「自ら学ぶ力」(知)・「豊かな心」(徳)・「健全なる身体」(体)を身につけた子どもの育成に努めてまいります。



平成31年度 教育重点課題

- ◇学習規律を身につけ、自ら学び、高め合い、学びを深める住北っ子の育成
- ◇生活規律を身につけ、違いを豊かに認め合う住北っ子の育成
- ◇進んで運動に励み、体力・運動能力を高め、ねばり強くやりきる住北っ子の育成

家庭教育ノート

そもそも卒業式は、学習指導要領において、特別活動における学校行事（儀式的行事）として分類され、教育課程に位置づいております。



この儀式的行事には、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で、清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動が求められており、本校としては、卒業式を小学校生活6年間で身につけてきた学びの集大成としての「最後の授業」と位置づけております。

育てていただいた親（家族）への感謝、新たに始まる中学校生活への期待、最上級生のバトンを渡す5年生への信頼など、卒業生としての素直な思いが、気持ちよく表現できるように、細やかな所作や振る舞いについても、丁寧に指導しております。

したがって、卒業式には華美な服装は避け、儀式にふさわしい装いで出席させていただきたいと考えております。

昨今、子どもの意志とは別に高額な袴を着せて、親の“インスタ映え競争”が激化している現状もあり、実際、袴姿で当日を迎えた児童は、着慣れていないことから、練習時には見られなかった無駄な動きが目立ち、残念に思ったこともありました。

一生に一度の記念日である小学校の卒業式に、華やかな衣装で出席させたいという一心からでしょうが、授業の一環であることを踏まえ、他の児童にも配慮し、また、華美な服装へとエスカレートさせないためにも、保護者の皆様の良識ある判断を、強くお願いしてきたところであります。

昨年度の卒業生の保護者の皆様にも、良識あるご判断をいただき、卒業式といえども、「小学生に相応しい格好で華美な服装は避ける」という、いわゆる“平服のドレスコード”に立ち返っていただいたように感じました。

来年度の卒業式にも、華美な服装は避け、小学生に相応しい装いで、出席させていただきますよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



離任式

4月9日（火）に離任式を行いました。

この3月までお世話になった先生、介助員さんが、離任の挨拶に来てくださいました。冒頭の挨拶では、「一秒の言葉」という詩を朗読しました。

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるところがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。一所懸命、一秒。



大切な人との出会いと別れは、ひと繋がり、いつかは必ず別れが訪れるからこそ、出会った人に誠実にかかわることが大切なのだと思います。「はじめまして」と「さようなら」、そのつながりの中でお世話になったことを忘れず、感謝の気持ち「ありがとう」を心よりお伝えしました。

お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

新天地でのご活躍を心よりお祈りいたしております。